

国際協力50周年記念事業特別記念局の移動運用について

JARL黒部クラブ 会長 高村浩之

1、はじめに

JARL北陸地方本部に国際協力50周年記念事業特別記念局（8J1ODA）の北陸地方移動運用の打診があり、富山県支部が引き受けることとなりました。その中で、2月22日、23日JARL黒部クラブが担当となり、移動運用を行いましたので報告します。

2、国際協力50周年記念事業特別記念局について

平成16年は日本政府がODA（Official Development Assistance 政府開発援助）事業を開始して50周年の年にあたります。これを記念して実施される国際協力50周年記念事業の一環として特別記念局を開設し、ODA50周年を国内外のアマチュア局にPRするのが目的です。期間は12月10日から翌年3月末まで、1.8MHz～1.2GHzのオールバンドで期間中2万局の交信を目標にしているそうです。

3、運用計画について

JARL富山県支部では県内の登録クラブ代表者、支部役員に依頼・調整し下記の日程にて運用することとした。

22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
黒部クラブ	黒部クラブ	立山クラブ	YDAN	～16:00 YDAN 16:00～ 氷見クラブ	氷見クラブ	YDAN

4、8J1ODA/9移動運用について

22日（火）、朝から雪が降っていたが、天気予報では晴れるとのこと、無線機等を積んだ車は宇奈月町道の駅「うなづき」の駐車場に行った。風が弱く路面が除雪されているので設営は楽にできた。アンテナは支部の集いで購入した釣竿アンテナを使用し、10mのアース線を路面におき、アンテナチューナーを使い調整しながら運用した。ノイズは高めであったが良好に交信ができた。10時ごろには晴天となり、路面の雪が溶けていた。

車はスーパー農道「新川黒部橋」を通り、入善町側の堤防に移動した。車幅が広く運用には支障は無いが風が強くなり、時折雪が舞う中での運用となった。この時間になると7MHzのコンディションが変わり、呼びかけてはいるが交信局数は少なかったです。

午後は小川の河口に移動して朝日町の運用となりました。強めの風が吹いていましたが、車の中は快適でした。午後3時をまわった頃には、コンディションが良くなり、日没まで多くの局と交信することができました。夜は自宅のアンテナを使いVUの交信を行ったのですが、久しぶりに使うもので、430MHzのSWRが高いのに気が付かなかったのが

残念！でした。

23日は昼休みの間に、富山市移動にて運用しました。短い時間の運用ですが、多くの呼びかけがありました。夜間は自宅にて3.5MHzの運用を行いました。ノイズが強く、フェージングが伴う交信でありましたが、北は礼文郡、南は那覇市まで交信できたので良かったと思います。結局2日間で384局と交信ができました。

私は国際協力50周年記念事業特別記念局に関わるまでODAに関心がありませんでした。運用のあと、ODAのホームページを見て開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上に役立つ重要な施策であると認識しました。特別記念局を通じてODA事業の大切さが多くの国民に伝えられることを期待します。



宇奈月町移動 その1



宇奈月町移動 その2



朝日町移動